

## オーストラリア ハイキング山行報告

【ブルーマウンテンズ ジェノランケーブ（鍾乳洞散策） コジオスコ山 2228m】



【コジオスコ山山頂にて】

(山 域) オーストラリア東部 ブルーマウンテンズ、ジェノランケーブ、コジオスコ山

(コース) 3/10 ブルーマウンテンズ

(リンカーンロック展望台～プルピットロック展望台などのテーブルマウンテンハイク)

3/11 ジェノランケーブ

(ジェノランケーブ周辺 Six Foot Track ハイク・ジェノランケーブ鍾乳洞見学)

3/13 ジンダバイン

コジオスコ山 (2228m) 登頂ハイク

(スレトボ台リフト➡➡イーグルネスト小屋➡➡コジオスコ山山頂)

(日 時) 2019年3月10(日)～13(水) 〈内12日は移動日〉

(天 候) 概ね 晴れ

(参加者) CL 東葛山の会 A氏 SL 田中 加藤洋 井上里 他会員外 (15名：県連傘下会員)

(山行タイム) 注記 時間は現地時間：(日本時間にサマータイム含みプラス2時間)

3/10 ブルーマウンテンズナショナルパーク入口 11:40～プルピットロック展望台 16:15

3/11 Six Foot Track 入口 9:30~Six Foot Track~ジェノランケーブ 12:00

世界最古のジェノランケーブ鍾乳洞見学 13:45~15:30

3/13 スレットボ 9:00~リフト~9:30~イーグルネスト小屋 11:00~山頂 12:10~往路下山  
~スレットボ 14:30~15:00 ころ (大よそ時間)



【ブルーマウンテンズスタート】

(山行報告)

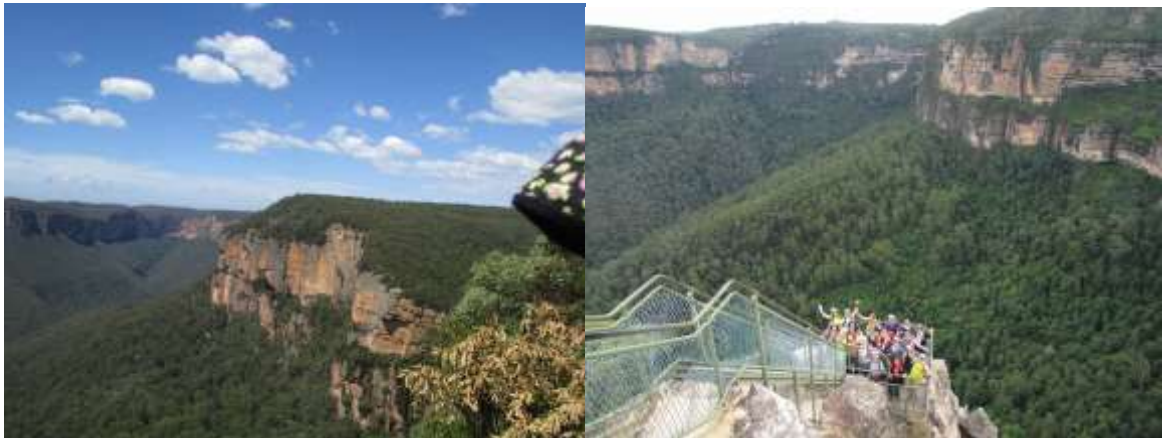
3/10 ブルーマウンテンズは 1000m 級の山並み (テーブルマウンテンが連なる山並みの総称で密性するユーカリの脂分により青く輝く山という意味でブルーマウンテンズと呼ばれて居る。道は整備されマウンテン断崖の上に作られていてとても気持ちの良い、ほとんど平坦なコースを行く。途中で絶壁の上に見晴台が設けられ雄大な景観が見られ圧倒された。

(有名な南米のケーブルマウンは見えて居ないがこんなんだろうかと南米に思いを馳せた。)

3/11 当初はジンダバインと鍾乳洞は離れて居ると思ひ込んでいたが、後でびっくりする。午前中は宿舎のホテルから車で 30 分ほど送ってもらい Six Foot Track の入口よりカンガルー遭遇ハイクに出発する。出て林間の道を進むとバンガロー村に付き広場で遊ぶカンガルーが出迎えられ (飼いならされていそう) 写真に収めハイク道を宿舎ホテルに向かい歩く。ジェノランケーブの宿舎ホテルが見えてくると巨大な洞窟に有ると言うストロマトライトと言う最古の微生物 (化石では無く休眠状態で含まれる岩塔) を見るため洞窟に入るが岩崩れで通行止めのためやむなく手前から説明を受ける。)



【プルピットロック展望台】



【ブルーマウンテンズとプルピットロック展望台】

宿に帰り食事の後に（ちなみにこの宿も付近一帯の管理は国が行い職員は皆、公務員である。）宿の目の前の岩場に漠然と固定されている扉を自然保護官が来て開けると連絡通路に成り150mほど進むと驚くことにそこは地底世界（世界最古3億年前の世界）であった。発見されて間もない洞窟を保護官とガイドから保護のための注意と持ち込み禁止事項を聞きながら進むと見事な鍾乳洞（鍾乳石・石筍など）が、次々と現れ心を太古の昔に導いてくれた。中でも保護官が流してくれたオーケストラの音楽が巨大な音楽堂の様に響き贅沢なひと時を過ごせた。



【バンクシア：マウンテンデビル】



【グレベリア：巨大な蟻塚】

3/13 全前夜 前夜からメンバーの多くが体調不良（風邪症状）を訴えて居る中、私も昨夜は咳と鼻つまり、タンのつかえなどで殆ど眠れない中で朝を迎えた。

気温は風が有り0度ほどに成るが晴れベースで、ビバーク後と考え登山続行をする事にする。ルートはよく整備され石畳・金属グレーチングなどの整備された道を「雲の平」を歩くようにユックリと進む、秋に向かう山並みは風冷たく防寒具を着込み山頂までの道を途中のトイレ休憩をはさみ無事に山頂（オーストラリア大陸の最高地点）に到着して登山の目的を達成した。帰りは往路を辿り早々と下山した。



【コジオスコ山登山道】



【トロマトライト見学：カンガルー】



【ジェノランケーブ鍾乳洞】

(番 外)

3/8 成田空港を出発後は香港で3時間の乗り合わせでシドニー空港に現地時間の9日昼に着く。当初は検疫が厳しく皆、準備を十分にしていけるが、一つ二つの質問に（例えば持参薬の英語版説明書など見せて指さすと「行け」の合図で無事に通過出来た。

3/9 午後と夜は市内観光（オペラハウス・ミセス、マツコリー岬・ルミソズポイント展望台・セントメアリー大聖堂・シドニー湾夜景）を見学して最初の異郷での夜を過ごす。

3/12 この日は終日移動日で500kmのバスの旅となる。車窓両側には行けども、行けども牧場が続き見渡す限り果てから果てまで牧場と末直ぐな道、時たま見える牧場の家、時たま止まる集落と町が有るのみで地平線のかなたに層気楼も見えて台地の広さに圧倒された。

滞在中はステーキの厚い肉をたくさん頂いた、これではまともに牛肉で勝負しても不可能と思わせて頂いた。（日本の牛肉は味と質で勝負する以外に渡り合う方法が無いと思えた。）

3/14 最後の夜も明け、いよいよ帰国へ向け豪州での最終日となる。

日本料理店での昼食で遠い故郷に想いを馳せながら豪州の日本料理を堪能するが、やはり揚げ物中心の料理であった。

国会議事堂は警備警官が自動小銃を構えて居て、日本に無い光景に驚きを感じた。また人口が少ないのは当然だが、議員数も少ないのに驚いた。

戦争博物館では日本の特殊潜航艇などが展示され戦争の悲劇を敵味方なく展示されていた。

選挙での投票率が無いと聞き、なぜか？聞くと、国民の義務となっていて、棄権すると罰金日本円で 5000 円ほどが課せられると言うわけであった。

また、投票に行けない理由を作れないように、いたるところで投票場が開設されるという。



【どこまでも続く牧場】



【シドニー湾の夜景】

終わり。